

復興推進室新設、復興ビジョン委員会開催



復興推進室の看板掛けを行う片岡市長と野村室長



第1回復興ビジョン委員会

西日本豪雨からの早期復興を目的に、11月1日付で、新たに総合政策部に復興推進室を設置しました。室長には、野村周弘総合政策部長を起用。ほか課長級、係長級、主任級、主事級、各1人の5人体制で、復興の指針を示す復興ビジョンや復興計画の策定業務を行います。

同日、市保健センターでビジョン策定のための委員会が開催されました。委員会では、兵庫県立大学減災復興政策研究科教授の青田良介さんと仙台市まちづくり政策局長の梅内淳さんが、阪神・淡路大震災や東日本大震災などからの復興について説明。その後、委員による意見交換も行われました。委員会は昭和・下原地区や関係団体の代表者ら10人の委員で構成されています。

復興ビジョンは年内での策定を目指し、今後広報紙やホームページなどでお知らせする予定です。

今月のテーマ 冬に流行する病気

ノロウイルスに注意

が必要です。ノロウイルスは食中毒の原因第1位で、平成29年度には食中毒の全患者数の5割を占めました。また、ノロウイルスによる胃腸炎には、年間100万人以上の人がかかっています。

- 感染力が強い理由は、
- ・ごく少量のウイルスで感染する
 - ・患者の嘔吐物や便中に多量のウイルスがいる
 - ・ウイルスの遺伝子型が変異し、何度でも感染する
 - ・体力が回復しても、1週間から3週間ウイルスを排せつする
 - ・凍結しても生き延び、室温で

は20日以上感染力を保つ

- ・ワクチンがない
- ・アルコール消毒が効かない

などです。予防のため、カキなどの二枚貝は十分加熱調理しましょう。ノロウイルスの死滅には、85度以上で1分半以上の加熱が必要です。また、丁寧な手洗いをすることが重要です。感染者の嘔吐などで部屋やシーツが汚れた場合には、ウイルスの汚染を広げないように、迅速で適切な対応が必要です。普段から手順をしっかりシミュレーションしておくことで良いでしょう。

問い合わせ 健康医療課健康増進係 (☎②8259)



上田 美子 医師 (吉備医師会から)

冬の季節に特に流行しやすいのが、ノロウイルス感染症です。ノロウイルスに感染した食品を食べたり、感染者の便や嘔吐物から人の手を介して二次感染したりして、食中毒や感染性胃腸炎になります。潜伏期間が1日から2日と短く、症状としては嘔吐、下痢、発熱などがあります。通常は3日くらいで回復しますが、症状がひどいときには点滴

安全・安心のすすめ

年末年始は、犯罪や事故の多発が予想されます。総社警察署では、皆さんに安心して過ごしていただけるよう、年末年始のパトロールを強化して、犯罪や事故の未然防止に努めます。子どもが犯罪の被害に遭わないよう、通学路などの見守り活動をはじめ、各種犯罪・事故防止にご協力をお願いします。

- 年末年始の雑踏事故防止
- 迷惑、危険な行為の禁止

事件事故のない明るい年末年始を

混雑している場所では、押し合ったり走ったりすることは危険です。事故のないよう、お互いに譲り合しましょう。

- 幼児への配慮
 - 人がたくさん集まるところに出掛けるときは、必ず保護者が付き添い、迷子にならないように注意しましょう。
- 盗難被害の防止
 - 初詣などで混雑している場所では、すりやひったくりに遭う恐れがあります。貴重品はしっかりと身に付けて、被害防止に努めましょう。

- 新たな手口の架空請求詐欺
- ハガキを送りつける架空請求

監修・問い合わせ 総社警察署 (☎②0110)

『広報そうじゃ』11月号6ページのお詫びと訂正

平成31年度から予定しておりました次の事業については、内容を今一度精査したいと考えているため、実施を取りやめさせていただくこととなりました。

- 幼稚園における小規模指定園の実施 (三須幼稚園、秦幼稚園、神在幼稚園)
- 幼稚園における預かり保育の拡充 (阿曾幼稚園)

ご迷惑をお掛けして大変申し訳ありません。今後、さまざまなご要望に沿える制度となるよう十分検討してまいりますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

問い合わせ こども夢づくり課 (☎②8265)

10月臨時市議会 災害復興予算を可決



被災したコミュニティ広場

10月17日、10月臨時市議会が開催され、議案3件を審議。原案のとおり可決されました。一般会計補正予算は7480万円の増額。平成30年7月豪雨の災害復旧のために、他自治体から応援職員を受け入れる経費約6279万円や、台風24号により被災したコミュニティ広場を復旧する経費約952万円などです。

問い合わせ 総務課行政係 (☎②8218)